

高校教育研究委員会 2017年度 第1回公開研究会

高大接続問題を考える

～すべての高校生・青年の学び・成長を保障する高校・大学教育を～



文科省は「高大接続システム改革会議」最終報告（2016年3月）をふまえた具体的検討の進捗状況を今年5月16日に公表しました。その内容は、①「高校生のための学びの基礎診断（仮称）」、②「大学入学共通テスト（仮称）」、③「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」についての実施方針案となっています。それらに共通しているのは、全国一斉学力テストが小中学校の教育改善・改革につながりPISA調査でも高い評価を得ている。しかし、高校では「学力3要素」を踏まえた指導が浸透しておらず「基礎学力不足」と「学習意欲低下」が起こっている。その「改善・改革」のため大学入試を変えるという考え方です。

こうした「高大接続改革」ではなく、すべての高校生・青年が学び成長する権利を保障するため、幅広い基礎学力の充実と人格の完成を促す高校・大学教育を実現することが必要です。「高大接続改革」を批判的に検討し、国民的な議論と合意形成のため大いに学びあいましょう。

■日時：6月24日（土）17:00～19:00

■会場：全国教育文化会館 1階共済会議室

■報告：佐々木隆生さん（北海道大学名誉教授）

「高大接続改革の現状と展望（仮題）」

※「高大接続改革の進捗状況に関する意見書」について
（全教・教文局）

問い合わせは 全日本教職員組合（全教）まで

TEL 03(5211)0123 E-mail zenkyo@educas.jp